

今話題のRPAで実現する人手不足、 ミス防止への具体的なアプローチ方法



WinActor

日本ソフト開発株式会社

Nippon Software Knowledge corp.

会社概要

| | | |
|-------|---|--|
| 社名 | 日本ソフト開発株式会社 (Nippon Software Knowledge corp.) | |
| 代表 | 代表取締役会長兼社長 | 藤田義嗣 |
| 設立 | 1972年2月 | |
| 資本金 | 1億9000万円 | |
| 本社 | 滋賀県米原市米原西23番地 | |
| 東京支店 | 東京都港区浜松町2丁目7番17号 | |
| 大阪支店 | 大阪府大阪市淀川区宮原4丁目1番14号 | |
| 従業員 | 127名 (平成30年6月現在) | |
| 従取引銀行 | 大垣共立銀行・滋賀銀行・関西アーバン銀行・三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・りそな銀行 | |
| 加盟団体 | 公益社団法人私立大学情報教育協会 J-LIS (地方公共団体情報システム機構) CRI (一般社団法人ケーブルテレビ情報センター) | 一般社団法人滋賀経済産業協会 社団法人地域環境資源センター 滋経済同友会 その他 |
| 業務契約 | 長野総合法律事務所、有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツ税理士法人 | |



2. 主要ソフトウェア製品ラインナップ



Kid's View キッズビュー

幼保業界向けソフトウェア



SOFINET CLOUD

IoT/M2M関連ソフトウェア

SOFIT Super **REALISM**

ビッグデータ処理関連システム

Channel- 

CATV向けソフトウェア

 **WinActor**

業務自動化ソフトウェア

RPA（Robotic Process Automation ロボティック・プロセス・オートメーション）とは

認知技術（ルールエンジン、機械学習、人工知能など）を活用したホワイトカラー業務の効率化／自動化に向けた取組み。「ソフトウェア・ロボット」が人間を補完し、事務の生産性へと業務を遂行できることから、仮想的労働者と言われている。

※ 参考：フリー百科事典 Wikipedia

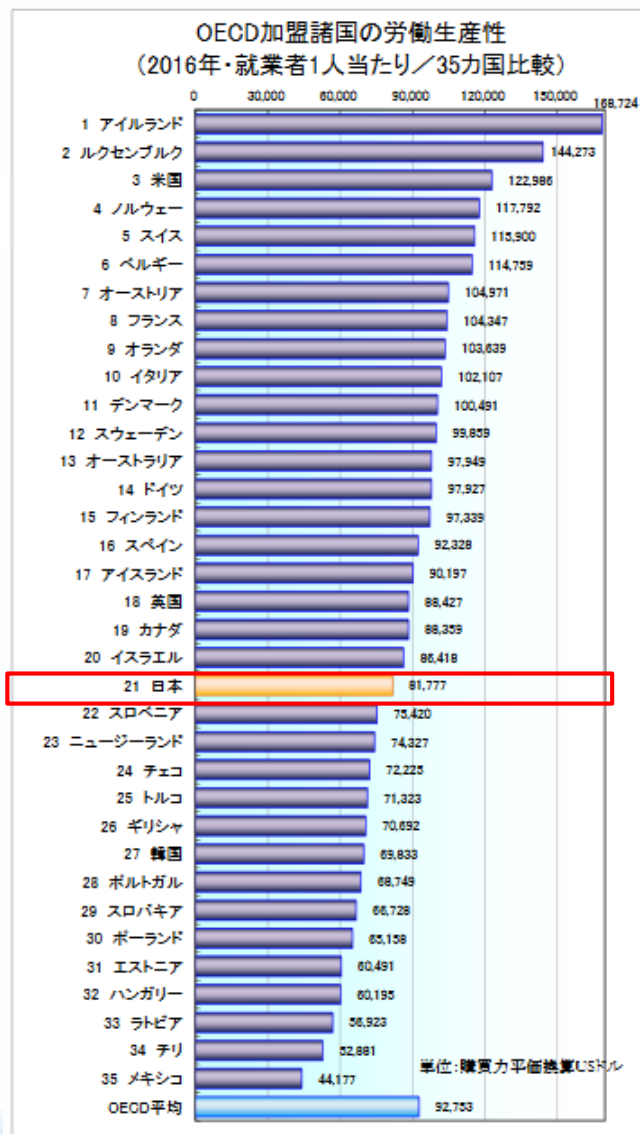
背景

働き方改革の号砲が鳴って1年がたった。厚生労働省が公表する実労働時間をみると、2016年が168.7時間なのに対し2017年が168.5時間とここ1年で1ヶ月あたり12分しか減っていない。ここで働き方改革の即効薬としてRPAが果たす生産性が注目されている。

※働き方改革とは…2016年9月に発足した政府の私的諮問会議である「働き方改革実現会議」が推進する
“長時間労働の抑制・年次有給休暇の取得促進”を目的とした取組み。

※ 参考：日経コンピュータ 0928号

日本でRPAの利活用が進みやすい要因



日本の労働生産性（就業者1人当たり）は
OECD（経済協力開発機構）加盟国35ヶ国の中
【21位】

主要先進7ヶ国では、【最下位】！！

■ 想定される主な要因

- ・ 少子高齢化による労働人口の**継続的減少**
- ・ 非人間的作業、長時間労働などの**慣習**
- ・ **属人的な業務プロセス**が定着

**RPAが果たす生産性により
日本の労働生産性は大きく改善できる！**

※ 出典：公益財団法人 日本生産性本部「労働生産性の国際比較2017年版」

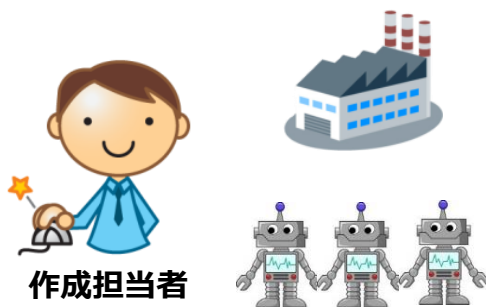
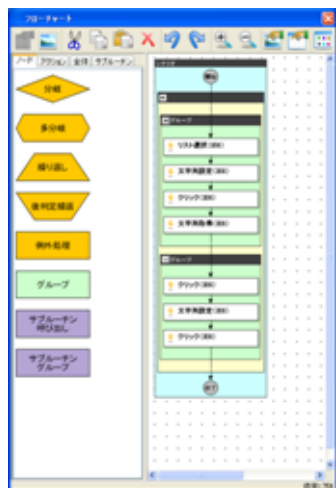
働き方改革を促進する純国産RPAツール



「WinActor」 とは

人が Windows PC上で行う様々な操作を「ソフトウェア・ロボット」として作成／記録し、複数のPC上でロボットを実行させることで、人が行う煩雑な操作や、大量データを扱う繰り返し操作などを **代行**（自動化）するツールです。

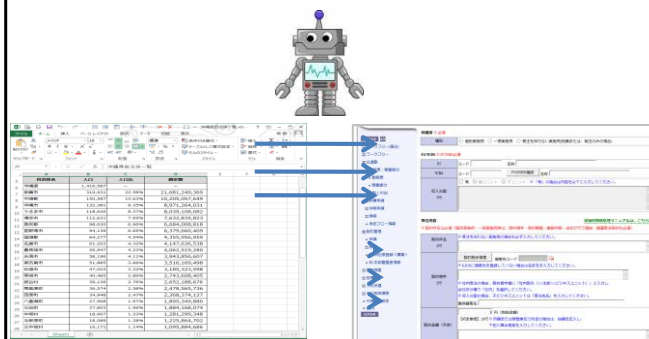
① ロボットの作成ツール



作成担当者

人が WinActor を使って、ソフトウェア・ロボットを作成。

② ロボットの実行環境



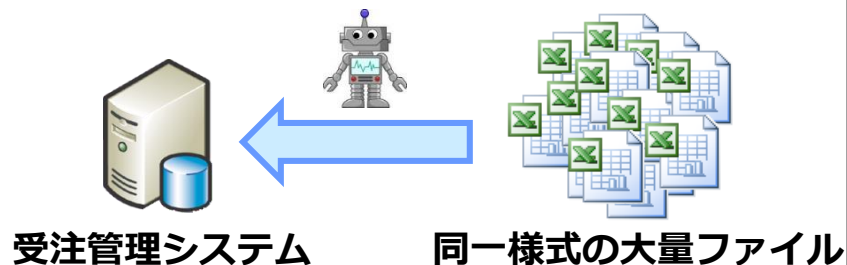
現場担当者

ソフトウェア・ロボットが人の代わりに OSやアプリケーションの画面操作を代行。

作成されたソフトウェア・ロボットは“仮想労働者”として、人間が行っていた PCを使って行う作業（マウスやキーボード操作）を **代行** してくれるようになります。

ソフトウェア・ロボットによる操作代行の適用例

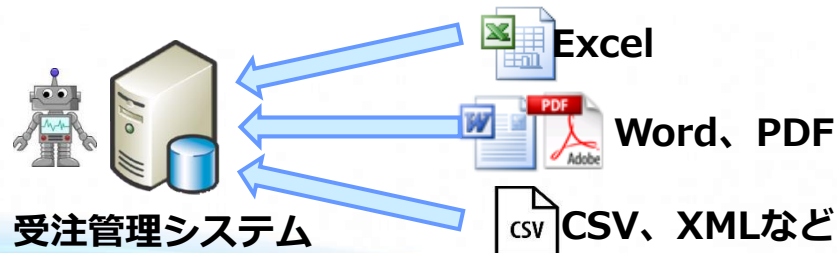
大量データの投入 A



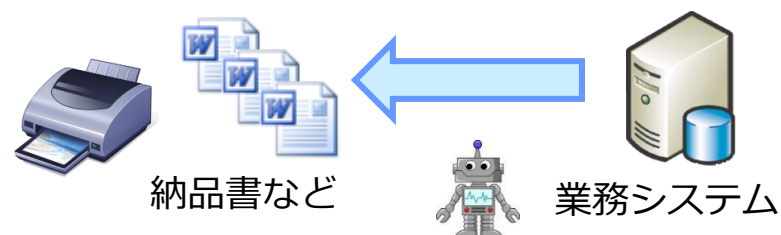
大量データの投入 B



様々な電子ファイルに対応

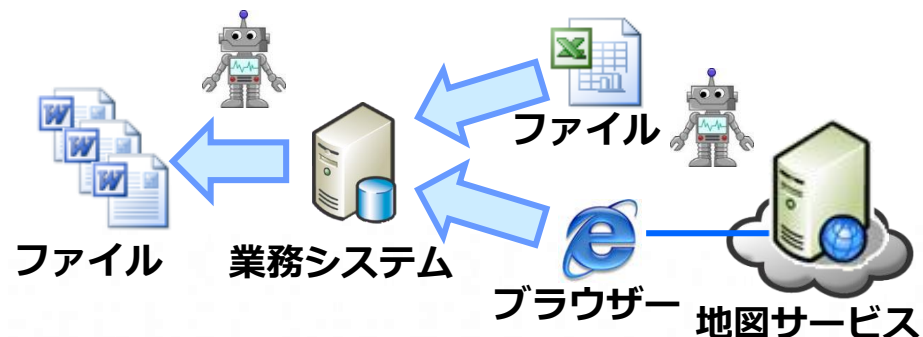


データの出力（保存、印刷）



1. ログイン操作
2. 業務メニュー選択
3. 画面上の項目に対する入力/選択
4. 印刷、ファイルに保存など

業務の一連の流れを自動化



自動化の組み合わせは自由自在です！

RPAツールの位置付け



7. RPAツール「WinActor」の導入実績と業種の変化



■ 導入実績

| | |
|--------|-----------------------|
| 2015年度 | 約 50社 |
| 2016年度 | 約 200社 (1年で150社増) |
| 2017年度 | 約 1,000社 (1年で800社増) |
| 2018年度 | 約 3,000社 (1年で2,000社増) |

■ 業種

| | |
|--------|----------------------------|
| 2015年度 | 金融業、情報通信業などのアーリーアダプター |
| 2016年度 | 製造業、サービス業、小売・卸売業などに拡大 |
| 2017年度 | 様々な業種・規模の企業に波及、 <u>自治体</u> |

■ 最近の傾向

- ・ RPAツールの選択肢が増加したことで、比較検討が進んでいる
- ・ 導入時のサポート、運用中のサポートがより重視されている

「WinActor」の特徴

1

**ノン・プログラミングで
ロボット作成が可能**

**GUI操作や録画機能を使うことで、
簡単にロボットを作成できます。**

2

**自動化における
ソフトウェアを問わない**

**パッケージからスクラッチ開発された
ソフトウェアまで何でも対応できます。**

3

**純国産のソフトウェア
(日本語インターフェース)**

**NTT研究所で開発された純国産の
ソフトウェアをベースとしています。**

4

スモールスタートが可能

**クライアントPCにインストール
するだけで、すぐにお使い頂けます。**

- ① Excel・オリジナルシステム連携：
Excelデータの注文書を自社オリジナルシステムへ登録

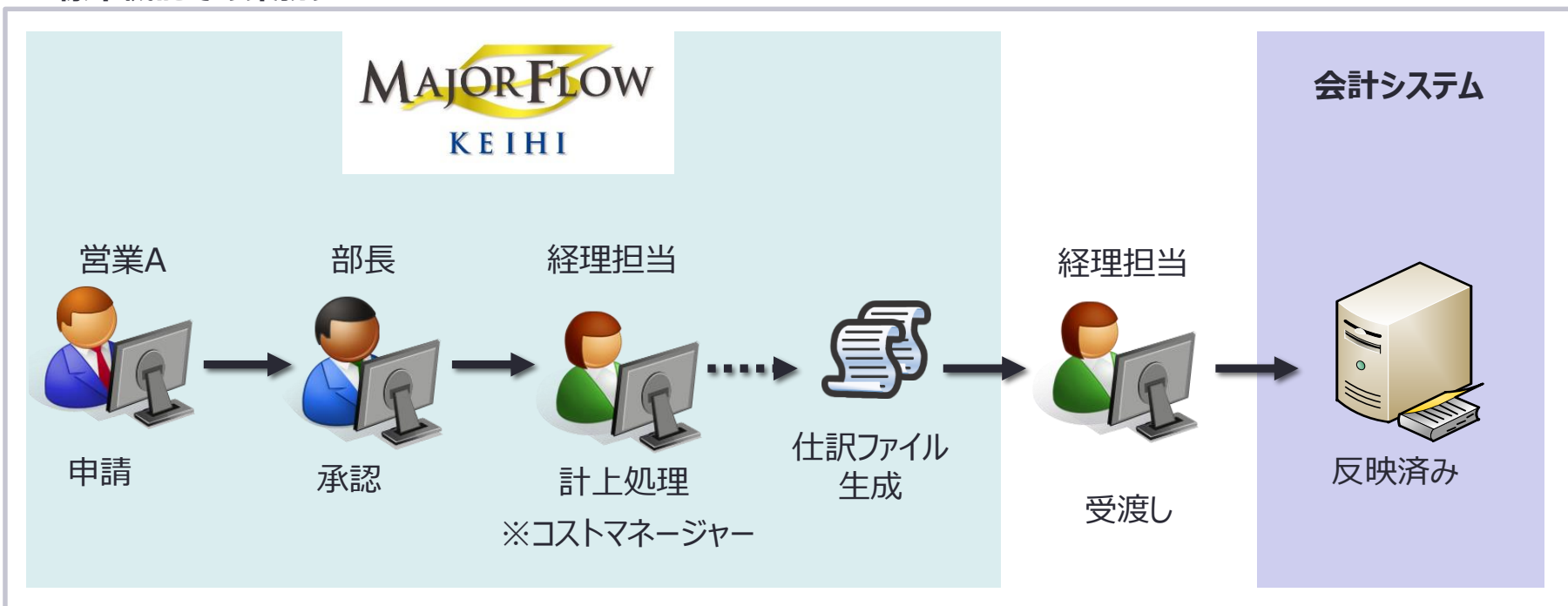
- ② MajorFlowから会計システムへ会計データの受入

② MajorFlowから会計システムへ会計データの受入 デモ概要

対象業務・・・最終承認された経費系申請書の仕訳データ取込

頻度・・・週1～7回、5分程度/1回につき

▼標準機能での業務フロー



現状の問題点

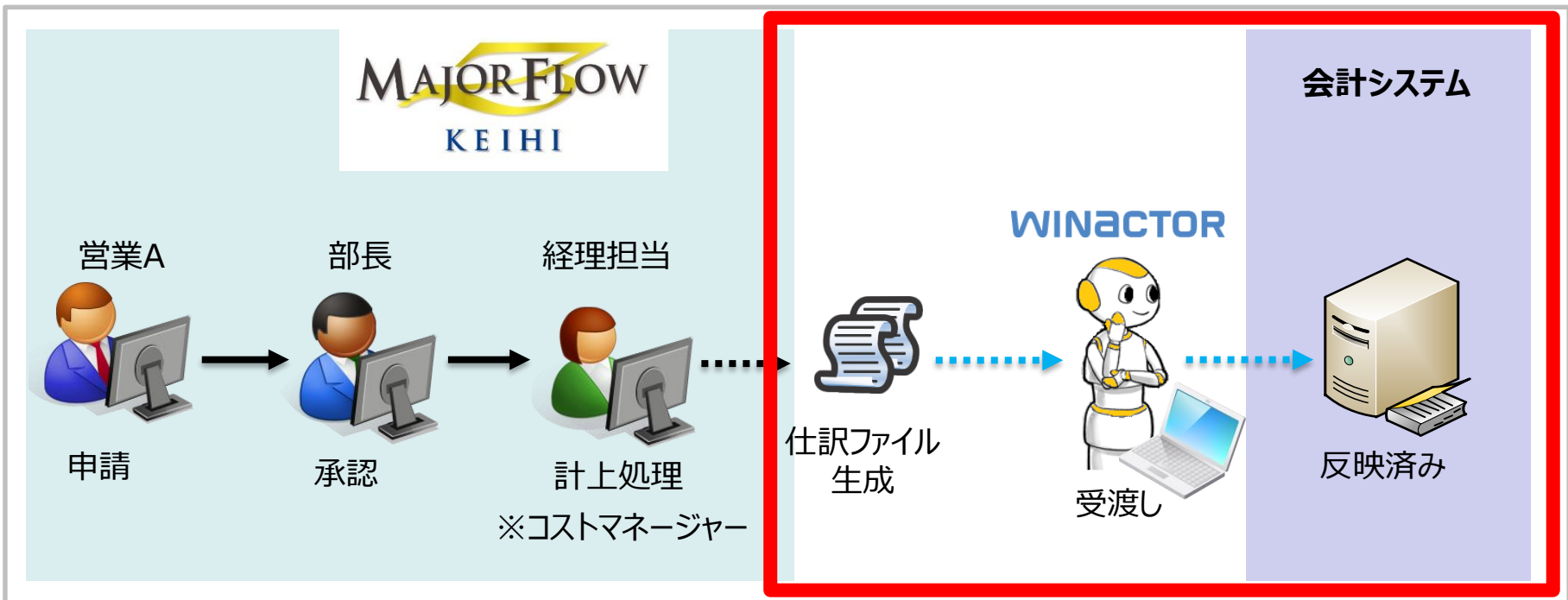
- ・週1～7回、5分程度/1回の業務時間
- ・経理担当者の欠席や外出
- ・同日の作業時間差異による支払漏れ

② MajorFlowから会計システムへ会計データの受入 デモ概要

対象業務・・・最終承認された経費系申請書の仕訳データ取込
頻度・・・週1～7回、5分程度/1回につき



▼RPA適用後の業務フロー



現状の問題点

- ・週1～7回、5分程度/1回の業務時間
- ・経理担当者の欠席や外出
- ・同日の作業時間差異による支払漏れ



RPA適用後の利点

- ・対象業務時間をゼロに！
- ・在席の有無は関係なく自動実行！
- ・夜間実行による支払漏れの完全防止！

■製品ラインナップ

1 WinActor フル機能版

ソフトウェア・ロボットの作成／編集／実行が可能

2 WinActor 実行版

作成されたロボットの実行のみ可能（再生専用）

■ライセンス形態

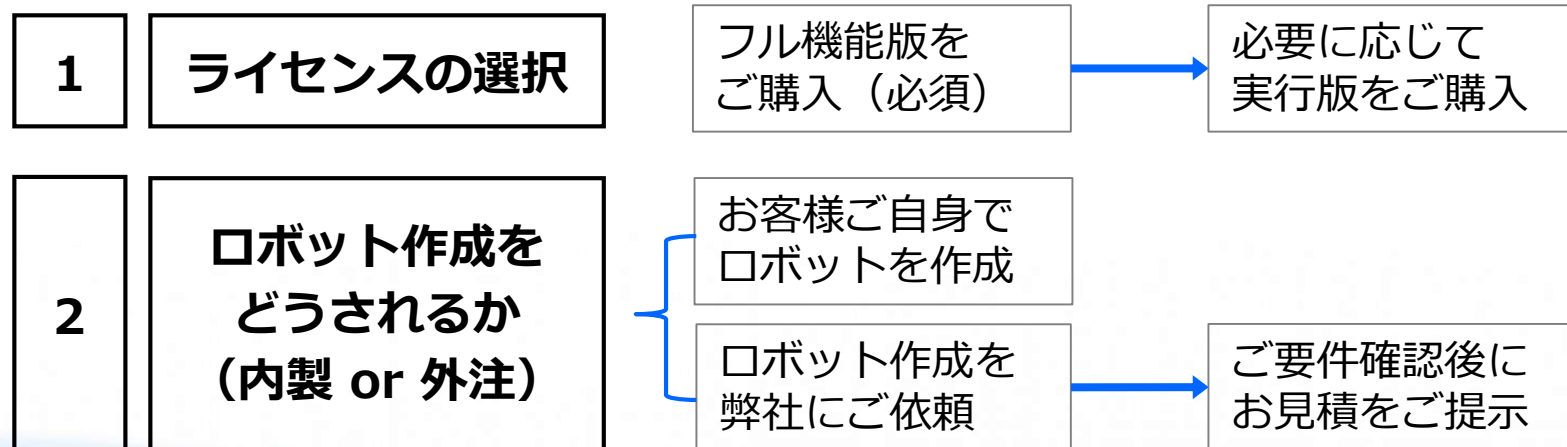
・年間サブスクリプション

1年間のご利用権

・デバイスライセンス

PC 1台毎にライセンスが必要

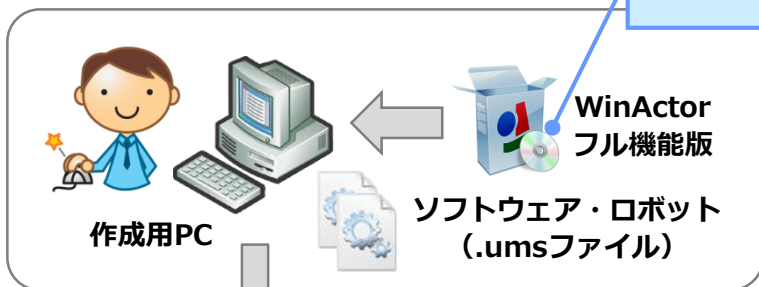
■導入イメージ



ロボットを作成するPCには、フル機能版ライセンスを導入します。

※フル機能版 1ライセンスは必須です。
※インストールには管理者権限が必要です。

■ シナリオ作成担当



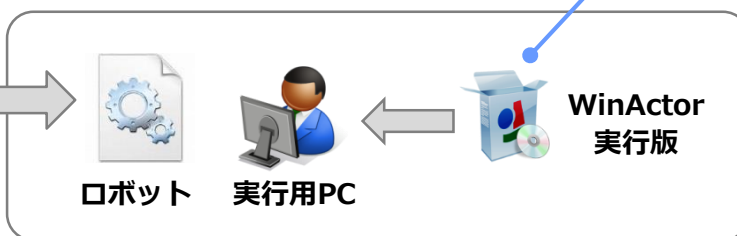
作成したロボットを配布

作成したロボットを配布

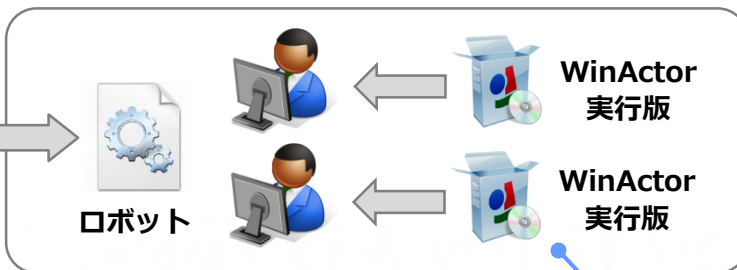
ロボットの配布/展開はファイルコピーでOKです。

古いPCを更改する場合は、ライセンスの移転が可能です。

■ A部門



■ B部門



※1台のPCで同時に実行可能なロボットは1つです。

2台同時にロボットを実行する場合、実行版ライセンスが2つ必要です。

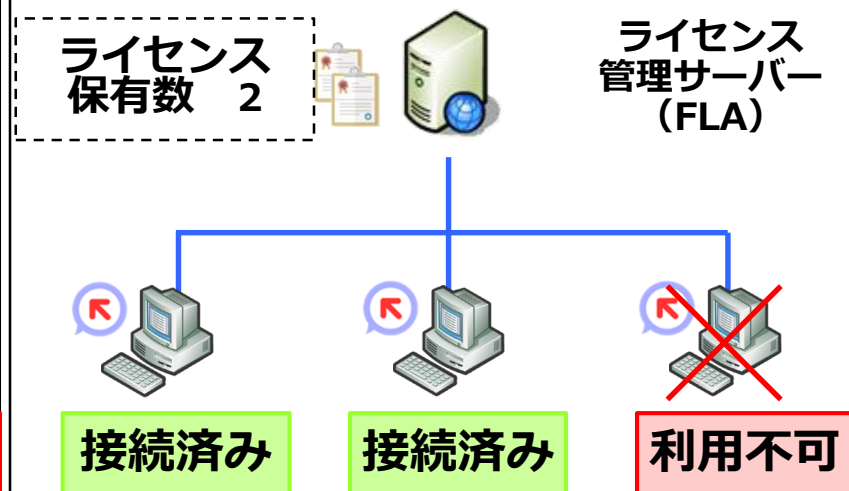
各クライアントPCにインストールされている WinActor のライセンスを「ライセンス管理サーバー」(FLA) で一括管理するライセンス方式です。

ノードロック方式 (従来型)



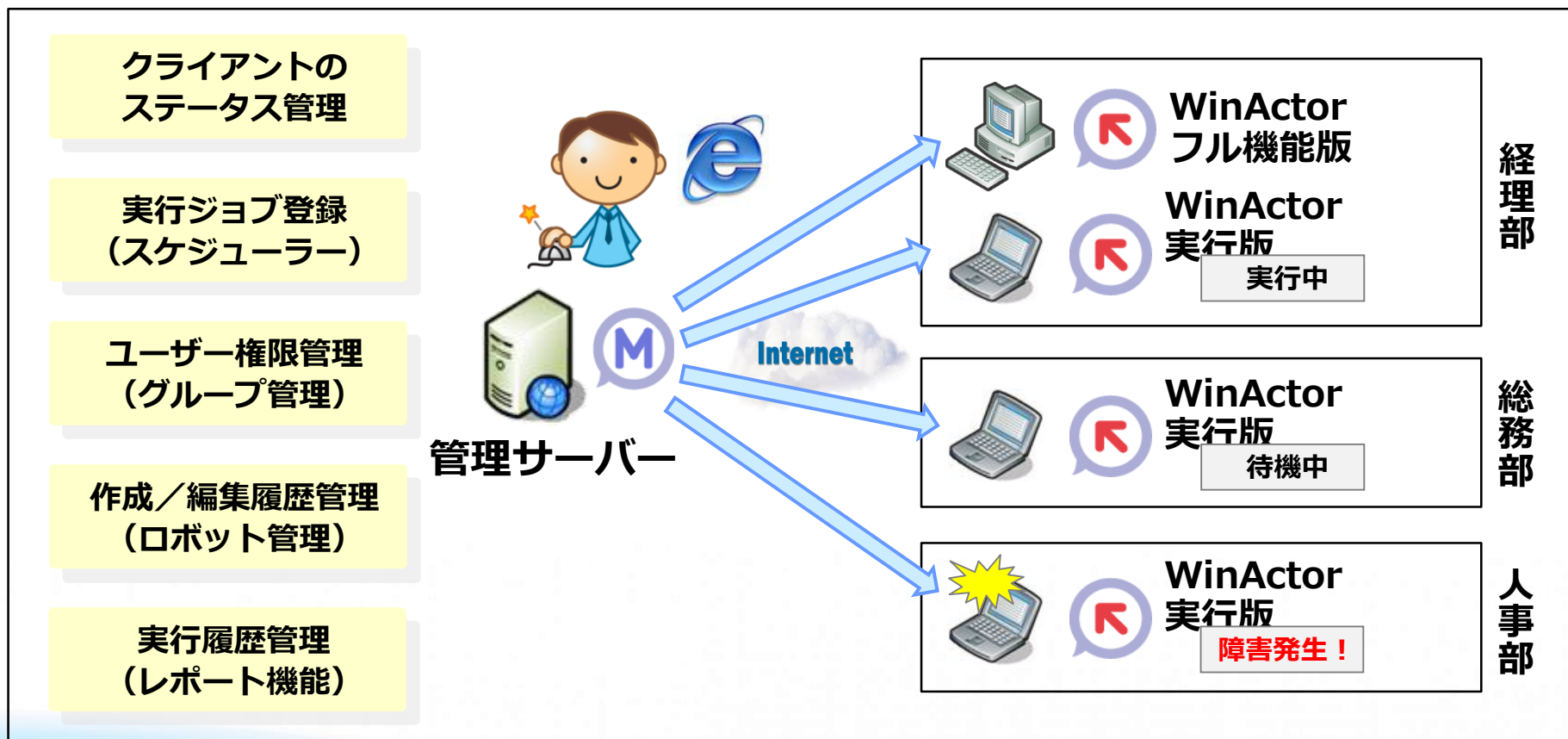
- ・ WinActor は利用するPCにインストール
- ・ ライセンスは各PC毎に個別管理
- ・ ハードウェア情報が変更されると動作不可

フローティング方式



- ・ WinActor は全てのPCにインストール可能
- ・ 保有ライセンス数の範囲で自由に利用可能
- ・ ハードウェア情報が変更されても動作可能

組織内に存在する複数の WinActor クライアント（フル機能版／実行版）を『一元管理』及び『運用支援』するためのクラウドサービスです。



※本機能は現時点での開発予定となるため、変更となる可能性があります。

■ WinActor 動作環境（クライアント）

対応OS :

- Windows 10 (32bit、64bit)
- Windows 8.1 (32bit、64bit)
- Windows 7 Professional SP1 (32bit、64bit)
- Windows Server 2016

対応Webブラウザ :

- Internet Explorer 11/10/9/8/7
(※IEエミュレーションモードが使用可能)
- その他Webブラウザ

各種ソフトウェア :

- ロボットを記録／再生するPCには、操作対象の各種ソフトウェアが必要

RPAに代行させたい業務について人が行う場合の操作手順を詳細にExcelなどにまとめておく。

業務によっては、RPA化する際に現在の業務フローを変更することもある必要。

全ての作業をRPAにやらせようとするのではなく、効果的な箇所を中心に適用していくのがベター。

Excelのマクロなどで行った方が効率的な場合もあるため、業務に合わせて最適なツールを選択する。



人を支援するミニロボット
(人間とロボットの相互補完)



目指すべきは？



何でもできる
万能ロボット
(高コスト)

ご清聴ありがとうございました。



日本ソフト開発株式会社

Nippon Software Knowledge corp.

- | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|-------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 本 社 | 〒521-0015 滋賀県米原市米原西 2 3 番地 (J R 米原駅新幹線西出口前) TEL : 0749-52-3811(代) FAX : 0749-52-3804 | <input checked="" type="checkbox"/> 大阪支店 | 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4 丁目 1 番 1 4 号 (住友生命新大阪北ビル 8 階) TEL : 06-6350-3505(代) FAX : 06-6350-3511 | <input type="checkbox"/> 東京支店 | 〒105-0013 東京都港区浜松町 2 丁目 7 番 1 7 号 (イーグル浜松町ビル 1 0 階) TEL : 03-5473-0036(代) FAX : 03-5473-0038 |
|------------------------------|--|--|---|-------------------------------|--|